



1月5日、石狩市新年交礼会で交流する紙智子参

紙智子参議が新春交礼会で多くの方と交流 各地で「憲法改正の動きは心配」の声

石狩市、白石区、清田連合町内会などや道新グループ主催の新春交礼会などに参加し多彩な人たちと交流しました。500名も集まった石狩市新年交礼会で長原、蜂谷両市議とともにテーブルを回ったとき、「紙議員のご挨拶のとおり、安倍内閣の憲法改正の動きは危険です」と共感を示す議会関係者、町内会幹部などがおり、安倍内閣への不安が新年早々から出されていました

紙智子参議と森つねと国政相談室長が新成人を激励

14日、紙智子参議と森つねと国政相談室長は札幌コンベンションセンターで行われた白石区の成人式参加者に「成人式を迎えたみなさん、おめでとうございます。ともに希望のもてる日本をつくりましょう」と呼びかけ、激励しました。このあと紙議員は会場に入り、式典に参加しました。式典参加の案内状が届いたのは今回が初めてです。



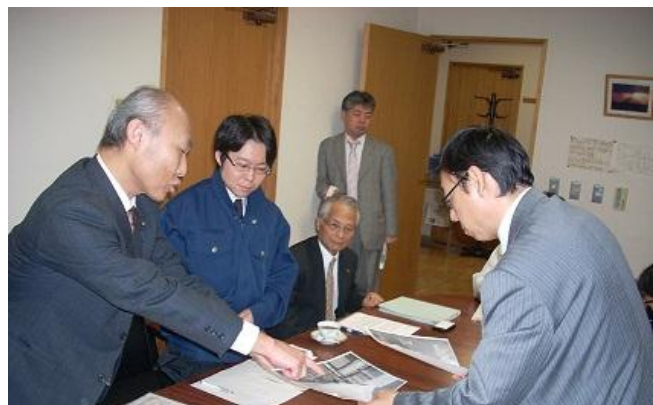
白石区成人式参加者を激励する紙、森の両氏と支部の方々

森つねと国政相談室長が留萌市の豪雪被害調査

平年の2倍以上の積雪を記録した留萌市。年明けからの積雪で、道路の除排雪が遅れ、通院や買い物など市民生活に大きな影響が出ています。11日、森つねと国政相談室長はさっそく留萌市にはいり、現地を視察するとともに住民から切実な声を聞いて留萌振興局、留萌開発建設部を訪れ除排雪の許可、促進を申し入れました。緊急自動車の走行にも支障が出る恐れもあり、バスの運行もできず車の交差もできない道路になっていました。女性や高齢者がひとりで家の前の除雪に汗を流していましたが、昨年の岩見沢の大雪の時のようにボランティア除雪隊の支援の必要性を痛感しました。この行動には、坂本茂留萌市議と金木直文羽幌町議が同行しました。17日、JR留萌線の留萌一増毛間が、また留萌市内のバス路線も15日ぶりに全面復旧する見通しになりました。



路肩にはこんなに高く積み上げられた雪を見上げる森室長と坂本市議



(左から)
留萌振興局に申し入れる金木町議、森室長、坂本市議